

漂流・漂着物(ごみ)の話

海岸漂着物(ごみ)の悪影響

海洋のごみで問題視されているのは、プラスチックなどの石油製品を中心とした人工系のごみです。これらは波や紫外線の影響で細かく碎けるものの、分解され自然に帰るまで大変長い時間がかかります。一度自然界に放出された人工ごみは海洋・海岸の環境に長期間にわたって、悪影響を与え続けるのです。

海に漂っている漂流物(ごみ)は海洋生物の命を脅かすこともあります。また、漁網などが船舶のスクリューに絡まる事例も多く、海運への影響も無視できません。

それらが海岸に流れ着いた海岸漂着物(ごみ)は景観を損ねるので観光やレジャー客の足を遠のかせ、地域経済に損害を与えます。回収には多額の人件費や処理費用がかかり、地方財政の負担になっています。



漁網やロープなどの絡まり
写真提供 一般社団法人JEAN



重機がなければ回収困難な庄内海岸の漂着ごみ(遊佐町)

海岸漂着物(ごみ)の発生源と流れゆく先

海岸漂着物の発生源はどこでしょうか。

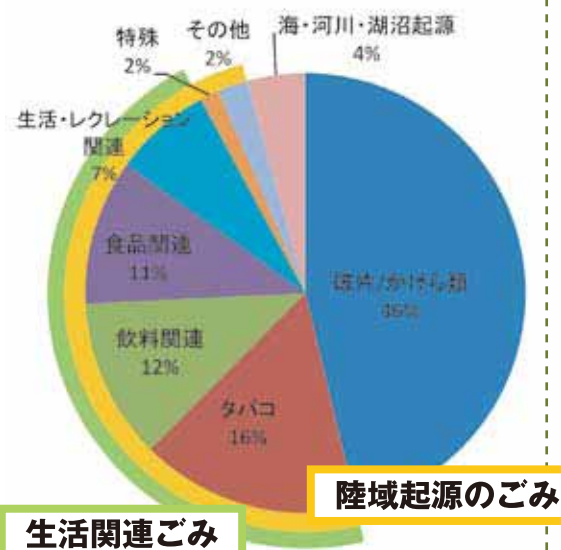
右の円グラフは2010年、全国の海岸で行われた調査型清掃活動のデータを一般社団法人JEANがまとめたものです。ごみ個数をカウントしたこの調査では、判別できた(破片/かけら類を除いた)ごみのうち92%が陸域起源のごみでした。また、この中で日常生活系のごみは、同様に90%以上を占めています。

一般家庭などから出た正規の回収処理ルートに乗らなかった、ポイ捨てや河原に放置されたごみは雨や風などにより河川に流入してしまいます。街なかの用水路、小川、大小さまざまな支流から水の流れと共に海へと運ばれていきます。街なかのごみが海を汚していたのです。

日本海へ出たごみは、海流に乗り北太平洋の海へと拡散していきます。他国からのごみが日本へ流れ着くように、日本から流れ出たごみが遠くの国の海岸へと流れ着いています。

北太平洋のミッドウェー環礁にあるコアホウドリの繁殖地では、親鳥が海を漂うプラスチックごみを魚と間違えて雛鳥に与えてしまうことが問題になっています。胃袋が漂流物(ごみ)でいっぱいになってしまった雛鳥は餓死してしまいます。胃の中からは日本から流れてきたとみられるライターやボールペンのキャップ、歯ブラシなどがみつかっています。

流出起源別の構成割合
JEANクリーンアップレポート2010より



プラスチックごみを誤飲して死んだコアホウドリ
写真提供 一般社団法人JEAN

海岸漂着物(ごみ)を無くすためには

ポイ捨て・不法投棄をしないことはもちろん、ごみをきちんと分別して捨てるのが大切です。自治体の回収ルートに乗ったごみは適切に処理されます。3R(リユース・リデュース・リサイクル)の実践や環境負荷の少ない商品を選ぶことで、普段の生活から出るごみを減らすことは、自然界・海へ流れだすごみを減らすことにつながります。循環型社会を目指すことは地球温暖化や廃棄物処分場の余命問題のみならず、多くの環境問題の解決への近道なのかもしれません。

全ての地域において、新たなごみの流出防止に取り組むこと、すでに自然界へ流出してしまっているごみを回収する活動を進めていかなければなりません。このような取り組みを通して、海洋環境のことを深く理解しながら生活していくことによって、循環型社会へと変えていくことが期待できます。

◆海洋環境について学ぼう

調査型のクリーンアップ活動や公開講座へ足を運んでみましょう。時々刻々と変化する海洋(漂流・漂着)ごみ問題の実状に触れることで、目から鱗の発見があるはずです。詳しく知ることで自分なりの関り方が見えてくるかもしれません。



◆清掃活動に参加しよう

市や町、企業、そして民間団体が企画する河川や海岸のクリーンアップや清掃イベントに参加してみましょう。また、公園清掃や町内清掃、日常的に路上に落ちているごみを拾うことも、ポイ捨てごみの河川への流入を防ぎ、海洋(漂流・漂着)ごみを減らすことへつながります。



企業研修プログラムの一環として行われた海岸清掃活動
(酒田市 飛鳥)



鶴岡市の民間企業主催のクリーンアップ活動
(酒田市 赤川河口右岸)

発行 山形県庄内総合支庁保健福祉環境部環境課

〒997-1392 山形県東田川郡三川町大字横山字袖東19-1 電話0235-66-2111(代表) 0235-66-5704(直通)

編集 特定非営利活動法人パートナーシップオフィス

JEAN 検索 <http://www.malipjapan.jp/>